

組織, 情報, その他

(1) 沿革

昭和22年林政統一による機構改革にともない、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪管
林局内の試験調査部門を編成がえのうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関西支場

- 昭和25.4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27.7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28.2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ同時に桃山研究室を設置した
- 昭和31.3 庁舎、研究室を新築、移転
- 昭和34.7 関西支場と名称を改む
- 昭和40.3 研究室等を増改築
- 昭和41.4 部制設置（育林、保護の2部）
// 防災研究室を岡山試験地から移設
- 昭和51.11 庁舎、研究室（昭和31.3新築のもの）を改築

岡山試験地

- 昭和10.8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和13.1 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22.4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27.7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34.7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41.4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む

(2) 土地および施設

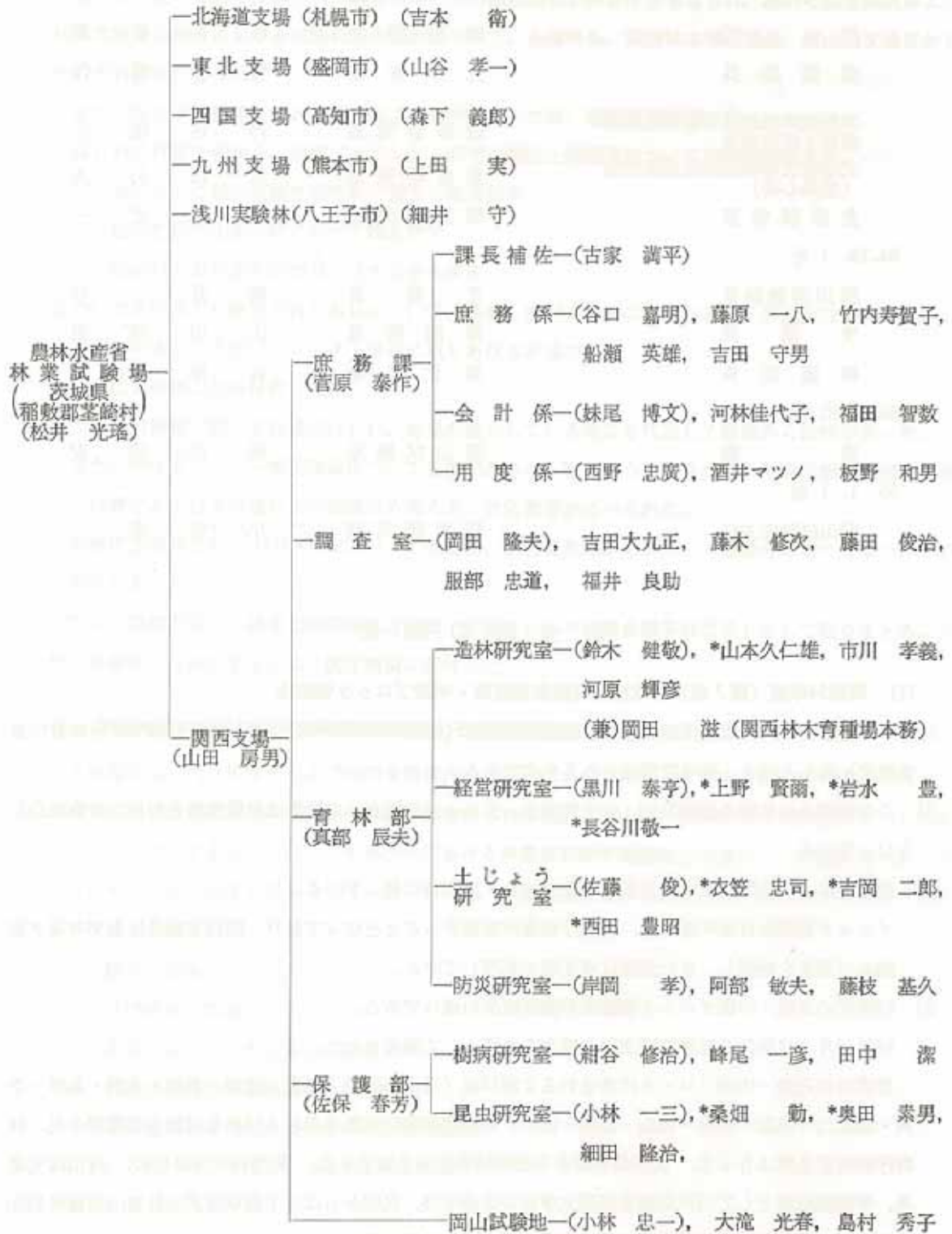
1. 土地	関西支場	岡山試験地
庁舎敷地	60,669m ²	12,254m ² (67,897m ²)
内訳		
庁舎および付属敷	11,539	(1,999)
苗木畑	13,270	4,264
樹木園	7,862	7,990
見本林, 実験林	27,998	(65,898)
宿舍敷地	9,373	915
島津試験林	7,045	—
宇治見試験林	3,812	—
計	80,899m ²	13,169m ² (67,897m ²)

注) () は借地

2. 施設	関西支場	岡山試験地
庁舎	5棟 2,630m ²	1棟 347m ²
内訳		
研究室(新館)	1,507	
〃(別棟)	628	
会議室	166	
機械室	140	
試料室	189	
温室	2棟 139	—
ガラス室	1〃 61	—
隔離温室	1〃 51	—
殺菌培養室	1〃 48	—
樹病低温実験室	1〃 91	—
昆虫飼育室	1〃 105	—
林木水耕実験室	1〃 26	—
材線虫媒介昆虫実験室	1〃 41	—
研究資料調整室	1〃 64	—
人工降雨室	1〃 19	—
連絡事務所	1〃 223	—
その他	9〃 377	7棟 267
宿舍	17〃 1,703	2〃 196
計	43棟 5,578m ²	10棟 810m ²

(3) 組 織

(昭和55年3月31日現在)



注: { () はそれぞれの長 * は主任研究官

(4) 人のうごき

54. 4. 1 付

退 職	庶務課長	渡 部 松 雄
庶務課長	九州支場	菅 原 泰 作
本場造林部遺伝育種科遺伝育種第4研究室長	造林研究室	内 村 悦 三
北海道支場保護部昆虫研究室(室長心得)	昆虫研究室	古 田 公 人
主任研究官	防災研究室	小 林 忠 一

54.10. 1 付

浅川実験林長	支 場 長	細 井 守
支 場 長	保 護 部 長	山 田 房 男
保 護 部 長	東 北 支 場	佐 保 春 芳

54.12.31 付

退 職	岡山試験地	松 田 宗 安
-----	-------	---------

55. 1. 1 付

岡山試験地主任	防災研究室	小 林 忠 一
---------	-------	---------

(5) 会議の開催

(1) 昭和54年度(第7回)林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会

- 1) この協議会は、林業技術開発推進協議会運営要領(昭和48年6月8日付け、48林野第108号林野庁長官通達)にもとづき、毎年度開催されるものである。
- 2) この協議会は協議の段階別に、中央協議会、ブロック協議会および都道府県協議会の三つの協議会からなっている。

当支場は、この区分の中の近畿・中国ブロック協議会に属している。

ブロック協議会は毎年度1回、林野庁長官が招集することとなっており、関西支場長は当ブロック協議会の運営を総括し、また庶務は当支場で処理している。

- 3) 54年度の近畿・中国ブロック協議会の概要は次の通りである。

54年10月3日林業試験場関西支場会議室を会場として開催された。

出席者は近畿・中国ブロックに含まれる2府12県(石川・福井・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口)の林務部局行政担当者および林業試験指導機関の長、林野庁研究普及課より2名、大阪営林局から技術開発担当企画官3名、関西林木育種場長、同山陰支場長、学識経験者として石川県農業短期大学赤井重恭学長、民間からは王子製紙株式会社亀山育種場長和田克之氏、関西支場非常勤職員の日本菌学会理事浜田稔氏が参加された。

なお、林業試験場(本場)からは調査部企画科長が、当支場からは支場長、育林部長、各研究室長、庶務課長、調査室長外係官が出席した。

会議は、研究普及課技術開発担当課長補佐、本場企画科長、当支場長のあいさつの後、経過報告および情勢報告が行われた。

まず昨年度の会議で提出された課題についての経過報告が林野庁からなされ、続いて国立林試および林木育種場の最近における試験研究の動向について、企画科長、関西林木育種場長、同山陰支場長からそれぞれ説明があった。

また55年の予算構想について林野庁より説明があった後、協議事項に移った。

はじめに林野庁側から、大型プロジェクト研究の現状と問題点についての説明がなされ、

- 食用きのこ類の高度生産技術に関する総合研究
- 松の枯損防止新技術に関する総合研究
- 国産材の多用途利用開発に関する総合研究

について各府県より提出された意見について、集約、検討の結果の説明があり、討議がなされた。

次に55年度から大型プロジェクト研究に取りあげる計画の、

- 広葉樹林の造林技術

についての構想に関して討議が行われ、意見を提出している府県を代表して数県から説明があった。

また、55年度メニュー候補課題についても説明があり、数県から提出されていた府県要望事項等に対し、林野庁およびその他の国の機関から考え方、対応策等が述べられた。

最後に企画科長から IUFRO についての連絡、研究普及課からブロック協議会のあり方についての発言があった。

なお、協議内容は「林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会議事録要旨」として取りまとめ、55年1月林野庁へ提出すると共に関係機関に配付した。

(2) 関西地区林業試験研究機関連絡協議会とその研究活動について

本協議会は、当支場管内および四国支場管内の2府16県の公立の林業に関する試験研究機関の長および林業試験場関西支場長、同四国支場長、関西林木育種場長、同山陰、四国両支場長を会員として構成し、その目的とするところは、この地区内における林業試験研究機関相互の連けい、林業技術の向上ならびにその普及、発達を図ることである。そして、本協議会はこの目的を達成するために次に掲げる事業を行なっている。

1. 総会の開催
2. 共同研究の推進
3. 研修会および研究発表会の開催
4. 林業技術開発推進協議会との連絡
5. その他本会の目的達成のために必要な事業

以上のうち、54年度は下記の事業が行われた。

1) 第32回総会

昭和54年9月20日山口市において開催された。

最初に研究普及課研究班担当課長補佐から、最近の中央情勢、特に55年度予算について説明があり、林試本場調査部長からは1981年京都市で行われる IUFRO 第17回世界大会について説明があった。

つづいて協議会内に設置されている部会の部会長から、各部会の過去1ヶ年間の共同研究の経過と成果および今後の計画について報告があり協議が行われた。

各府県林試の当面する問題については、場所長からの説明と、これに対する討議が行われた。

その他、国立林試の試験研究の推進目標について調査部長から説明があった。

2) 各部会活動の状況

当協議会には9の部会があり、研究を行なっている。部会活動には当支場研究員も参加し、共同研究の実施、研究情報の交換および助言など、公立研究機関との研究上の緊密な連絡を行なった。

なお、大阪・高知の両管林局あるいは管外の公立林試が参加している部会もある。

54年度中に行われた部会の開催は次の通りである。

部 会 名 (共同研究班)	開 催 月 日	開 催 場 所	当 番 機 関
育 苗	54. 9.12 ~ 13	美 作 町	岡 山 林 試
特 産 (シイタケ)	54. 9.18	(岡山県) 徳島市	徳島・センター
経 営	54.10.18 ~ 19	山 中 町	石 川 林 試
立 地	54.11. 7 ~ 8	(石川県) 高知市	林 試・四 国 支
林 業 機 械	54.11. 8 ~ 9	松 阪 市	三 重・セ ン ター
樹 木 保 全	54.11.15 ~ 16	河 内 長 野 市	大 阪・セ ン ター
特 産 (マツタケ)	54.11.19 ~ 20	高 松 市	香 川・指 導 所
育 種	55. 1.17 ~ 18	神 戸 市	兵 庫 林 試
育 林	55. 1.17 ~ 18	奈 良 市	奈 良 林 試
保 護	55. 2. 6 ~ 7	松 山 市	愛 媛 林 試
特 産 (ク リ)	55. 3. 4 ~ 5	京 都 市	京 都 林 試

(3) 業務報告会の開催について

昭和53年度業務報告会は54年5月22日~25日の間にわたって開催され、各研究室および試験地毎に報告が行われた。

(6) 受託研究, 調査, 指導

用 務	委 託 者	用 務 先	実施期日	出 張 者	
				研 究 室	氏 名
複 層 林 施 業 調 査	日本林業技術協会	福 山 市	54. 7. 25 ～ 7. 26	土じょう	吉岡 二郎
特殊林産物(しめじ)生産施設の設置計画について	全国林業構造改善協議会	和歌山県日高郡川辺町	54. 8. 23 ～ 8. 25	樹 病	紺谷 修治
航空機利用による林地除草技術研修会に関する講師	農林水産航空協会	兵庫県城崎郡城崎町	54. 9. 5 ～ 9. 6	育林部長	真部 辰夫
和歌山県東牟婁郡本宮町の現地調査	全国農業構造改善協会	和歌山県東牟婁郡本宮町	54. 10. 1 ～ 10. 5	経 営	黒川 泰亨
〃	〃	〃	54. 11. 29 ～ 12. 1	〃	〃
重要水源山地整備治山事業調査	水利科学研究所	東広島市	54. 12. 13 ～ 12. 17 ～ 12. 16	土じょう	佐藤 俊 衣笠 忠司
保 全 計 画 調 査	〃	広島県安芸郡江田島町	55. 1. 8 ～ 1. 13	〃	佐藤 俊 衣笠 忠司
林分密度管理図及び間伐指針表の作成に関する調査	日本林業技術協会	東 京 都	55. 2. 6 ～ 2. 9	経 営	長谷川敬一
〃	〃	〃	55. 3. 25 ～ 3. 26	〃	上野 賢爾 長谷川敬一

(7) 当 場 職 員 研 修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
河 林 佳代子	農林水産研修所	54. 7. 2～ 7. 14	昭和54年度初級事務職員研修
藤 枝 基 久	筑波事務所研修施設	55. 1. 21～ 1. 26	昭和54年度電子計算機プログラミング研修
黒 川 泰 亨	野菜試験場	55. 3. 6～ 3. 7	M A P (多変量解析用プログラムパッケージ) 講習会

(8) 技 術 研 修 受 入 れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
西 垣 真太郎	鳥取県林業試験場	54. 6. 1～ 8. 31	定量分析法による森林土壌の理化学性分析
横 溝 康 志	栃木県林業センター	54. 9. 1～ 9. 30	スギカサガの被害, 生態及び防除について
畑 中 政 雄	兵庫県立林業試験場	55. 2. 1～ 2. 29	食用茸類の害菌に関する研究

(9) 海外出張

氏名	出張先	出張期間	研究課題
河原輝彦	フィリピン	55. 1.17～ 3.16	人工造林地の林分生産に関する研究

(10) 見学者

(54.4.1～55.3.31)

区分	件数	人数	備考
国	80	195	
府 県	41	116	
学 校	{ 大 学	7	78
	{ そ の 他	6	474
林 業 団 体	14	83	
一 般	41	117	
小 計	189	1063	
外 人	14	43	アメリカ, インドネシア, カナダ, 韓国, コロンビア, スイス, タイ, 台湾, ネパール, ビルマ, フィンランド, ブラジル, フランス他
合 計	203	1106	